

## 第I部 総論 引用文献

著者	鈴木 弘明
権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
シリーズタイトル	地域研究シリーズ
シリーズ番号	9
雑誌名	中東--経済
ページ	29-36
発行年	1992
出版者	アジア経済研究所
URL	<a href="http://doi.org/10.20561/00031142">http://doi.org/10.20561/00031142</a>

## 〔引用文献〕

- [1] アジア経済研究所『イスラーム関係資料総合目録』1961年。
- [2] アダムス (Adams, Richard H.), *Development and Social Change in Rural Egypt*, Syracuse, Syracuse University Press, 1986.
- [3] アダムス (Adams, Richard H.), "Worker Remittances and Inequality in Rural Egypt," *Economic Development and Cultural Change*, 38 (1), Oct. 1989, pp. 45-71.
- [4] 安藤勝美「経済自立の法的側面——アフリカ特にアルジェリアを中心とした——」(『アジア経済』第9巻第1号, 1968年1月, 2~28ページ)。
- [5] 安藤勝美「アルジェリア鉱業政策の特質」(『アジア経済』第11巻第2号, 1970年2月, 4~19ページ)。
- [6] 池田明史編『現代イスラエル政治——イシューと展開——』研究双書372, アジア経済研究所, 1988年。
- [7] 石田進「19世紀後半エジプト国家財政の破産」(『アジア経済』第8巻第10号, 1967年10月, 31~46ページ)。
- [8] 石田進「アラブ社会主義における土地改革——農地収用, 再分配をめぐる一評価——」(『農業経済研究』第45巻第4号, 1974年3月, 179~188ページ)。
- [9] 石田進『帝国主義下のエジプト経済——19世紀エジプトの植民地化過程の分析——』御茶の水書房, 1974年。
- [10] 石田進「イランの経済発展——農業部門の発展と問題点——」(糸賀昌昭編『中東の経済発展Ⅲ——イラン, サウディ・アラビア——』研究参考資料232, アジア経済研究所, 1975年, 1~40ページ)。
- [11] 石田進「サウジアラビア農業の現況」(『中東総合研究』第1号, 1975年9月, 17~25ページ)。
- [12] 石田進「スーダンの農業とその開発計画」(『中東総合研究』第7号, 1977年3月, 56~75ページ)。
- [13] 伊能武次編『アラブ世界の政治力学』研究双書336, アジア経済研究所, 1985年。
- [14] 糸賀昌昭「経済開発計画とイラク農業」(『アジア経済』第7巻第7号, 1966年7月, 54~71ページ)。
- [15] 糸賀昌昭『メソポタミアの土——イラク農業研究序説——』アジアを見る眼7, アジア経済研究所, 1967年。
- [16] 糸賀昌昭「イラクの経済発展」(糸賀昌昭編『中東の経済発展Ⅰ——シリア,

- イラク——』研究参考資料196, アジア経済研究所, 1973年, 151~182ページ。
- [17] 糸賀昌昭「サウディ・アラビアの経済と経済発展」(糸賀昌昭編『中東の経済発展III——イラン, サウディ・アラビア——』研究参考資料232, アジア経済研究所, 1975年, 111~187ページ)。
- [18] 糸賀昌昭「乾燥地帯の農業と水利——イラクのケース・スタディ——」(『中東総合研究』第1号, 1975年9月, 38~50ページ)。
- [19] 糸賀昌昭「アラブ諸国——水との闘いと石油収入による食変化——」(長谷山崇彦・小島麗逸編『公開講座 第三世界の食糧問題』アジアを見る眼65, アジア経済研究所, 1983年, 104~132ページ)。
- [20] イブン・ハルドゥーン, 田村実造訳編『イブン・ハルドゥーンの「歴史序説」』(上)(下)アジア経済調査研究双書107, 108, アジア経済研究所, 1964年, 65年。
- [21] ウォリナー (Warriner, Doreen), *Land and Poverty in the Middle East*, London, Royal Institute of International Affairs, 1948.
- [22] ウォリナー (Warriner, Doreen), *Land Reform and Development in the Middle East*, London, Oxford University Press, 1962.
- [23] ウォリナー (Warriner, Doreen), *Land Reform in Principle and Practice*, Oxford, Clarendon Press, 1969.
- [24] エッ・デスーキ (El Dessouki, A.), "The Revolution of 1952 and the Landowners; A Preliminary Study on <Landlordism> in Egypt 1952-1971," *Journal of the Middle East*, 1985, pp. 41-64.
- [25] エル・ゴネミー (El Ghonemy, M. Riad), *The Political Economy of Rural Poverty: The Case for Land Reform*, London, Routledge, 1990.
- [26] オウエン (Owen, E.R.J.), *Cotton and the Egyptian Economy: A Study in Trade and Development*, Oxford, Clarendon Press, 1969.
- [27] 大岩川和正「イスラエル農村の経済的性格——パレスチナにおけるユダヤ人入植過程研究の視点から——」(I)(II)(『アジア経済』第7巻第1号, 1966年1月, 17~32ページ; 第7巻第2号, 1966年2月, 58~74ページ)。
- [28] 大岩川和正「イスラエルのユダヤ人入植村組織に関する一考察」(滝川勉・斎藤仁編『アジアの農業協同組合』アジア経済調査研究双書209, アジア経済研究所, 1973年, 269~312ページ)。
- [29] 大岩川和正『現代イスラエルの社会経済構造——パレスチナにおけるユダヤ人入植村の研究——』東京大学出版会, 1983年。
- [30] 大野盛雄「農村調査に関する若干の問題」(『アジア経済』第7巻第1号, 1966年1月, 49~61ページ)。
- [31] 大野盛雄「イランの農地改革について考える」(『アジア経済』第8巻第10号, 1967年10月, 2~17ページ)。

- [32] 大野盛雄『ペルシアの農村——むらの実態調査——』東京大学出版会，1971年。
- [33] 大野盛雄『フィールドワークの思想——砂漠の農民像を求めて——』東京大学出版会，1974年。
- [34] 大野盛雄「イラン農村の社会変化——ケイラーバードの12年——」（『中東総合研究』第5号，1976年9月，2～14ページ）。
- [35] 大野盛雄「革命日誌——民衆抵抗の諸様相——」（大野盛雄編『イラン革命考察のために』研究双書307，アジア経済研究所，1982年，111～149ページ）。
- [36] 岡崎正孝「イラン・ゴルガン地方における企業家的農場の成立と展開」（『アジア経済』第5巻第3号，1964年3月，33～43ページ）。
- [37] 岡崎正孝『イランにおける企業的農業の進展』研究参考資料88，アジア経済研究所，1965年。
- [38] 岡崎正孝「乾燥アジアにおける農業機械導入の諸条件」（『アジア経済』第7巻第5号，1966年5月，24～41ページ）。
- [39] 岡崎正孝「イランにおける地主の一類型——カスピ海地方の地主の実態——」（『アジア経済』第7巻第7号，1966年7月，40～53ページ）。
- [40] 岡崎正孝「イラン農業の構造と変化」（滝川勉・斎藤仁編『アジアの土地制度と農村社会構造』アジア経済調査研究双書167，アジア経済研究所，1968年，63～134ページ）。
- [41] 岡崎正孝「イランの灌漑農業」（福田仁志編『アジアの灌漑農業——その歴史と論理——』アジア経済調査研究双書233，アジア経済研究所，1976年，299～335ページ）。
- [42] 岡崎正孝「カナートとイラン農業に関する若干の考察」（『アジア経済』第14巻第10号，1973年10月，18～35ページ）。
- [43] 岡崎正孝「イランの農地改革」（『中東総合研究』第3号，1976年3月，53～61ページ）。
- [44] 岡崎正孝「イラン農業水利史に関するノート——とくにカナートとケイについて——」（『アジア経済』第21巻第6号，1980年6月，69～77ページ）。
- [45] 岡崎正孝『カナート——イランの地下水路——』論創社，1988年。
- [46] 加藤博「エジプトにおける私的土地所有権の確立」（『東洋文化研究所紀要』第91号，1981年12月，1～179ページ）。
- [47] 加藤博「近代エジプト農村社会研究のためのノート」（『東洋文化』第63号，1983年3月，211～236ページ）。
- [48] 加納弘勝「中東——石油の富と新たな国際的人口移動——」（柴田徳衛・加納弘勝編『第三世界の人口移動と都市化』アジアを見る眼62，アジア経済研究所，1983年，126～154ページ）。
- [49] 加納弘勝（R・ケレシュとの共著）『トルコの都市と社会意識』研究双書

- 402, アジア経済研究所, 1990年。
- [50] ガダッラ (Gadalla, S.M.), *Land Reform in Relation to Social Development in Egypt*, University of Missouri, 1982.
- [51] 木村喜博「エジプトの農業——第1次農地改革について——」(糸賀昌昭編『中東の経済発展II——エジプト——』研究参考資料197, アジア経済研究所, 1973年, 1~74ページ)。
- [52] 木村喜博「エジプトの『地主』についての考察」(同上書, 75~102ページ)。
- [53] 木村喜博「農地改革前におけるエジプト農村社会の構造」(川島武宜・住谷一彦編『共同体の比較史的研究』研究参考資料209, アジア経済研究所, 1973年, 267~313ページ)。
- [54] 木村喜博「エジプトの農村——ナグウ・クラハーンの家族構造——」(『アジア経済』第16巻第10号, 1975年10月, 76~87ページ)。
- [55] 木村喜博『エジプト経済の展開と農業協同組合』研究参考資料258, アジア経済研究所, 1977年。
- [56] 木村喜博「エジプトにおける農村労働力の一形態——シェリーフ・イズバの社会経済的關係——」(『アジア経済』第18巻第6・7号, 1977年7月, 155~172ページ)。
- [57] 木村喜博「エジプト農民の生活実態——農村社会の理解のために——」(『中東総合研究』第9号, 1977年9月, 32~38ページ)。
- [58] 小林元『中東の近代化とイスラム教』アジア経済研究シリーズ21, アジア経済研究所, 1961年。
- [59] 小山茂樹『石油と中東が世界を決める』時事通信社, 1987年。
- [60] 小山茂樹編『中東経済事情——オイルパワーのゆくえ——』有斐閣, 1981年。
- [61] サアブ (Saab G.), *The Egyptian Agrarian Reform 1952-62*, London, Oxford University Press, 1967.
- [62] 酒井啓子「バアス党支配下のイラクにおける国家統合」(清水学編『変貌する中東の政治構造——オイルショック後の10年——』研究双書330, アジア経済研究所, 1985年, 71~99ページ)。
- [63] 佐藤克彦「エジプトの人口変動と人口構造——1960~76年を中心にして——」(『アジア経済』第24巻第4号, 1983年4月, 46~76ページ)。
- [64] 佐藤克彦「発展途上国の都市化と人口移動」(河邊宏編『発展途上国の都市システム』研究双書367, アジア経済研究所, 1988年, 115~146ページ)。
- [65] 佐藤寛「サウジアラビア——近代化と正統性——」(宮治一雄編『中東の開発と統合』アジアを見る眼67, アジア経済研究所, 1985年, 138~162ページ)。
- [66] 清水学編『変貌する中東の政治構造——オイルショック後の10年——』研究

- 双書330, アジア経済研究所, 1985年。
- [67] Shimizu, Manabu; Iglal Rateb; Moustafa Ahmad Moustafa, *Public Sector in Egypt*, M.E.S. Series No. 18, アジア経済研究所, 1986年。
- [68] 鈴木均「イラン——米作文化と食糧自給——」(宮治一雄編「中東——国境を越える経済——」アジアを見る眼79, アジア経済研究所, 1989年, 28~50ページ)。
- [69] 鈴木弘明『エジプト綿業論』研究参考資料96, アジア経済研究所, 1966年。
- [70] 鈴木弘明「エジプトの労働力化率に関する一試論」(『アジア経済』第7巻第7号, 1966年7月, 15~39ページ)。
- [71] 鈴木弘明「エジプト企業家ノート」(『アジア経済』第8巻第10号, 1967年10月, 18~30ページ)。
- [72] 鈴木弘明「エジプト銀行史に関する一視角」(『アジア経済』第12巻第10号, 1971年10月, 2~17ページ)。
- [73] 鈴木弘明「エジプトの工業——製糖業の場合——」(糸賀昌昭編「中東の経済発展II——エジプト——」研究参考資料197, アジア経済研究所, 1973年, 103~184ページ)。
- [74] 鈴木弘明「M・アフマド・アッブードに関する一考察」(『中東総合研究』第1号, 1975年9月, 51~60ページ)。
- [75] 鈴木弘明「エジプトの綿花と経済」(『アジア経済』第23巻第6号, 1982年6月, 2~46ページ)。
- [76] 鈴木弘明「エジプト工業の構造的問題点——輸入代替における難問——」(『アジア経済』第24巻第4号, 1983年4月, 35~45ページ)。
- [77] 鈴木弘明『エジプト近代灌漑史研究——W・ウィルコックス論——』研究双書343, アジア経済研究所, 1986年。
- [78] 鈴木弘明「産油国への労働移動とその国内工業への影響」(鈴木弘明編『エジプト経済と労働移動』研究双書353, アジア経済研究所, 1986年, 151~171ページ)。
- [79] 関根英一「イランの貿易統計と貿易構造」(『中東総合研究』第11号, 1978年3月, 84~96ページ)。
- [80] 関根英一「イランの工業近代化」(『アジア経済』第21巻第4号, 1980年4月, 59~78ページ)。
- [81] 関根英一「エジプトの工業化と経済成長」(『アジア経済』第24巻第4号, 1983年4月, 2~18ページ)。
- [82] 関根英一「エジプトの労働力構造の変化と特質」(鈴木弘明編『エジプト経済と労働移動』研究双書353, アジア経済研究所, 1986年, 35~66ページ)。
- [83] 関根英一「トルコの経済開発と工業化の進展」(関根英一編「中東諸国の経済政策の展開」研究双書375, アジア経済研究所, 1988年, 139~164ページ)。

- [84] 内藤正典「シリア——都市とオアシスの生態系——」（宮治一雄編『中東の開発と統合』アジアを見る眼67, アジア経済研究所, 1985年, 84~112ページ）。
- [85] 中岡三益「帝国主義と地主制」（板垣雄三・中岡三益『アラブの現代史』東洋経済新報社, 1959年, 164~196ページ）。
- [86] 中岡三益「アラブ連合共和国の農地改革をめぐる理論的諸問題」（『東洋文化』第29号, 1960年3月, 43~70ページ）。
- [87] 中岡三益「アラブ社会主義と農業部門——低開発国における制度的改革と農業生産力にかんする試論——」（『思想』1964年10月号, 12~25ページ）。
- [88] 中岡三益「エジプトにおける農業協同組合に関する覚え書」（『アジア経済』第5巻第12号, 1964年12月, 35~47ページ）。
- [89] 中岡三益「エジプトにおける資本主義発展の起点と伝統的社会」（『アジア経済』第7巻第7号, 1966年7月, 93~100ページ）。
- [90] 中岡三益「エジプト地租改正史」（山田秀雄編『植民地社会の容容と国際関係』アジア経済調査研究双書170, アジア経済研究所, 1969年, 81~138ページ）。
- [91] 中岡三益「後進資本主義の一類型・モノカルチュア的産業構造について——エジプトの歴史的経験に照らして——」（大塚久雄編『後進資本主義の展開過程』アジア経済調査研究双書216, アジア経済研究所, 1973年, 113~137ページ）。
- [92] 中岡三益「エジプトにおける共同体——財産占取の形態と主体にかんするノート——」（川島武宜・住谷一彦編『共同体の比較史的研究』研究参考資料209, アジア経済研究所, 1973年, 257~266ページ）。
- [93] 中岡三益『現代エジプト論』アジアを見る眼56, アジア経済研究所, 1979年。
- [94] 中邑豊朗「シリアの経済発展」（糸賀昌昭編『中東の経済発展I——シリア・イラク——』研究参考資料196, アジア経済研究所, 1973年, 25~104ページ）。
- [95] 中邑豊朗「工業部門の発展と問題点——1960年代の工業化を中心に——, 「石油産業の発展」（糸賀昌昭編『中東の経済発展III—イラン, サウディ・アラビア』研究参考資料232, アジア経済研究所, 1975年, 40~110ページ）。
- [96] 中邑豊朗「中東産油国の石油収入と財政」（『中東総合研究』第3号, 1976年3月, 40~52ページ）。
- [97] 中邑豊朗「中東産油国の開発計画とその問題点」（『中東総合研究』第6号, 1976年12月, 50~70ページ）。
- [98] 中邑豊朗「エジプトの門戸開放政策（インフィターフ）の評価——国際収支を中心として——」（『アジア経済』第24巻第4号, 1983年4月, 19~34ページ）。
- [99] 長沢栄治「エジプトの移動労働者」（『アジア経済』第21巻第11号, 1980年11月, 57~75ページ）。

- [100] 長沢栄治「エジプト——食糧補助金と都市貧困層——」（宮治一雄編『中東の開発と統合』アジアを見る眼67, アジア経済研究所, 1985年, 113~136ページ）。
- [101] 長沢栄治「エジプトの農業労働力と労働移動」（鈴木弘明編『エジプト経済と労働移動』研究双書353, アジア経済研究所, 1986年, 93~149ページ）。
- [102] 長沢栄治編『東アラブ社会変容の構図』研究双書392, アジア経済研究所, 1990年。
- [103] 永田雄三「トルコにおける前資本主義社会と『近代化』——後進資本主義の担い手層をめぐる——」（大塚久雄編『後進資本主義の展開過程』アジア経済調査研究双書216, アジア経済研究所, 1973年, 139~233ページ）。
- [104] 奴田原陸明「エジプトの農村から——現代エジプト農村小説を参照して——」（『中東総合研究』第6号, 1976年12月, 18~31ページ）。
- [105] 間寧「トルコでの民営化——実施過程での行き詰まり——」（『現代の中東』第8号, 1990年3月, 52~58ページ）。
- [106] 浜渦哲雄「中東の石油化学工業化——産油国の論理と問題点——」（『現代の中東』第2号, 1987年3月, 2~13ページ）。
- [107] 浜渦哲雄「石油産業国有化と国際石油市場の変貌」（『現代の中東』第8号, 1990年3月, 27~43ページ）。
- [108] 原口武彦「チュニジアにおける農業改革——農業生産協同組合に関する一考察——」（『アジア経済』第10巻第2号, 1969年2月, 43~60ページ）。
- [109] 林武「経済発展と都市化」（林武編『中東の社会変動』研究参考資料75, アジア経済研究所, 1965年, 139~157ページ）。
- [110] ベーア (Baer, Gabriel), *A History of Landownership in Modern Egypt 1800-1950*, London, Oxford University Press, 1962.
- [111] ボルトン (Bolton, A.R.C.), 大西昭一・松山光治訳『ソヴェトの中東研究；分析と文献目録』アジア経済研究所, 1961年。
- [112] 前嶋信次編『アラブ諸国の社会経済機構』調査研究報告双書12, アジア経済研究所, 1961年。
- [113] 松村清二郎「イラク経済の現状とその問題点について——ソールター報告を中心として——」（『アジア経済』第2巻第3号, 1961年3月, 35~43ページ）。
- [114] 松村清二郎「カセム財政の一断面」（『アジア経済』第4巻第11号, 1963年11月, 40~55ページ）。
- [115] 松村清二郎「石油精製部門と中東——生産地精製の発展序説——」（『アジア経済』第7巻第7号, 1966年7月, 4~14ページ）。
- [116] 松村清二郎「『参加政策』をめぐる論争——産油国の政策理念とその意義——」（『アジア経済』第12巻第5号, 1971年5月, 54~69ページ）。
- [117] 松村清二郎『OPECと多国籍石油企業』アジア経済調査研究双書218, アジア



- 経済研究所, 1974年。
- [118] マライ (Marei, Said), *Egyptian Agrarian Reform*, Cairo, 1957.
- [119] 宮治一雄「アルジェリアにおける伝統農業の『近代化』——予備的考察——」(『アジア経済』第7巻第12号, 1966年12月, 68~81ページ)。
- [120] 宮治一雄『アルジェリア社会主義と自主管理農場』研究参考資料267, アジア経済研究所, 1978年。
- [121] 宮治一雄「モロッコとチュニジア——物価暴動と政治体制——」(宮治一雄編『中東の開発と統合』アジアを見る眼67, アジア経済研究所, 1985年, 163~185ページ)。
- [122] 宮治一雄「两大戦間期マグレブにおける労働力問題」(山田秀雄編『アフリカ植民地における資本と労働』研究参考資料236, アジア経済研究所, 1975年, 159~206ページ)。
- [123] 宮治一雄「アルジェリアの公共部門と構造改革政策」(関根英一編『中東諸国の経済政策の展開』研究双書375, アジア経済研究所, 1988年, 3~33ページ)。
- [124] 宮治一雄編『中東のエスニシティ——紛争と統合——』研究双書358, アジア経済研究所, 1987年。
- [125] 山田俊一「エジプト——イスラム投資会社問題——」(宮治一雄編『中東——国境を越える経済——』アジアを見る眼79, アジア経済研究所, 1989年, 128~154ページ)。
- [126] 山根学「アラブ社会主義に関する研究——エジプトの『アラブ社会主義論』について——」(『中東総合研究』第6号, 1976年12月, 32~49ページ)。
- [127] 山根学『現代エジプトの発展構造——ナセルの時代——』晃洋書房, 1986年。
- [128] ラドワーン (Radwan, Samir); リー (Lee, Eddy), *Agrarian Change in Egypt: An Anatomy of Rural Poverty*, London, Croom Helm, 1986.
- [129] リチャーズ (Richards, Alan), *Egypt's Agricultural Development, 1800-1980; Technical and Social Change*, Boulder, Westview Press, 1982.
- [130] リチャーズ (Richards, Alan); マーチン (Martin, Philip L.), *Migration, Mechanization and Agricultural Labor Markets in Egypt*, Boulder, Westview Press, 1983.